

## 令和7年度 第2回岡崎市有機農業推進懇談会 会議録

### 1 開催日時

令和8年3月6日（金） 15:30～16:40

### 2 開催場所

東部地域交流センター むらさきかん

### 3 出席者（敬称略）

#### （委員）

天野 砂田男：関係団体（JAあいち三河）

浦川 友紀：関係団体（Foods for Children岡崎代表）

鈴木 智：関係団体（岡崎安心野菜グループ）有機農業実践者（JAS）

中間 沙織：市民公募

平木 敦代：学校給食協会

藤山 尊司：関係団体（NPO法人おかざき農遊会）

矢田 哲臣：有機農業実践者（都市的地域）

山田 明日香：有機農業実践者（中山間地域）

横家 将納：学識経験者（人間環境大学）

#### （オブザーバー）

小口 広太：千葉商科大学人間社会学部准教授

岩石 真嗣：（公財）自然農法国際研究開発センター、おかざき有機農業塾講師

斉藤 博之：関係団体（NPO法人おかざき農遊会）

石田 治夫：関係団体（NPO法人おかざき農遊会）

渡邊 勝：関係団体（NPO法人おかざき農遊会）

富田 巖：関係団体（NPO法人おかざき農遊会）

矢田 純枝：有機農業実践者（都市的地域）

#### （事務局）

農務課：小林 哲夫、板坂 英幸、井尻 智久、倉田 知彦、杉浦 一子

中山間政策課：河合 寿八、小早川 侑

学校給食センター：酒井 啓滋

#### （傍聴者）

7名

#### 4 会議次第

- (1) 挨拶
- (2) 学校給食などを始めとした有機農産物の安定供給体制の確立について
- (3) その他

#### 5 会議要旨

- (1) 第2回岡崎市有機農業推進懇談会前に開催された「岡崎市有機農業推進セミナー 学校給食などを始めとした有機農産物の安定供給体制の確立について」の内容を、岡崎市として検討していくため、各委員から意見をいただく。

##### ○矢田委員

今年度の岡崎市有機農業の取組みは、まだ諸課題が山積みではあるが、プロシューマー（生産消費者）の誕生という大きな前進があった。このプロシューマーがどのようにして誕生したかを分析することが岡崎市の有機農業推進にとって重要だと思われる。

その誕生のポイントとして、有機給食を推進したいという思いを持つ消費者集団があったこと。岡崎市で有機農業塾が開催されていること。有機の農産物を学校給食で利用する公共調達があったこと。有機JAS取得先進農家からの助言、指導という生産者間の交流が行われていたこと等があげられる。これらのことを是非今後も生かしていきたい。

##### ○浦川委員

今回、有機でニンジンを作り、全体量の中のわずかではあるが給食に提供ができた。鈴木委員や他の方々に支えられてできたと感じる。岡崎の自然を残していきたいと思っており、オーガニックが良い選択肢の一つとして増えると良い。

##### ○鈴木委員

今年度、他の生産者とも合わせ全部で約2,000kgのニンジンを生産し、給食に提供できて良かった。ただ、給食に納品する有機の農産物の値段と慣行のものと値段の差が大きく、現在差額を市に補助してもらって、成り立っている。今の慣行の価格で有機のニンジンの提供は難しい。

##### ○小口氏

他の自治体も有機の給食で、補助金終了後が課題となっている。他の市では、まちづくり関連から予算を有機農業の予算へ引っ張ってきている市もある。学校給食に有機を何のために入れるのか、地域の食をどう養っていくか等を、分野を横断して、話し合うことも良いかと思われる。

##### ○斉藤氏

バケツ稲有機栽培や法性寺ネギ有機栽培の実施のため、小中学校等に行っているが、有機と慣行の違いについて、子どもたちに説明が難しい。どのように説明をしたら良いか教えてほしい。

○小口氏

あえて、有機という言葉を使わなくても、有機農業は、環境に良い農業であること、食が地球環境とつながっていることを話すと良いかと思う。また、子どもたちがすぐには有機を十分理解できなくても、大きくなった後に、自分たちが行っていたことは有機農業なんだと後で気づいてもらえれば良いと考える。

○岩石氏

有機の作物と慣行の作物の違いは、成長スピードにある。慣行の作物は、成長が早く、また実った後悪くなってしまうのも早い。有機の作物は、ゆっくり成長するが、ちょうど良い時期が長い。どちらの作物も、ちょうど良い時期には美味しいが、有機は美味しい時期が長いことが特徴であると言える。

○山田委員

有機と慣行の違いは、根の大きさが違う。有機の作物の根は大きく、作物自体が強いと思う。前に台風で作物が倒れたが、数時間後には倒れていたのが元に戻っていた。

(2) その他

- ・浦川委員から、F o o d s    f o r    C h i l d r e n岡崎で開催予定のオーガニックセミナーを紹介。
- ・事務局から、有機農業推進懇談会の委員の任期が今回で終了となる旨を説明。

終了を宣言。